

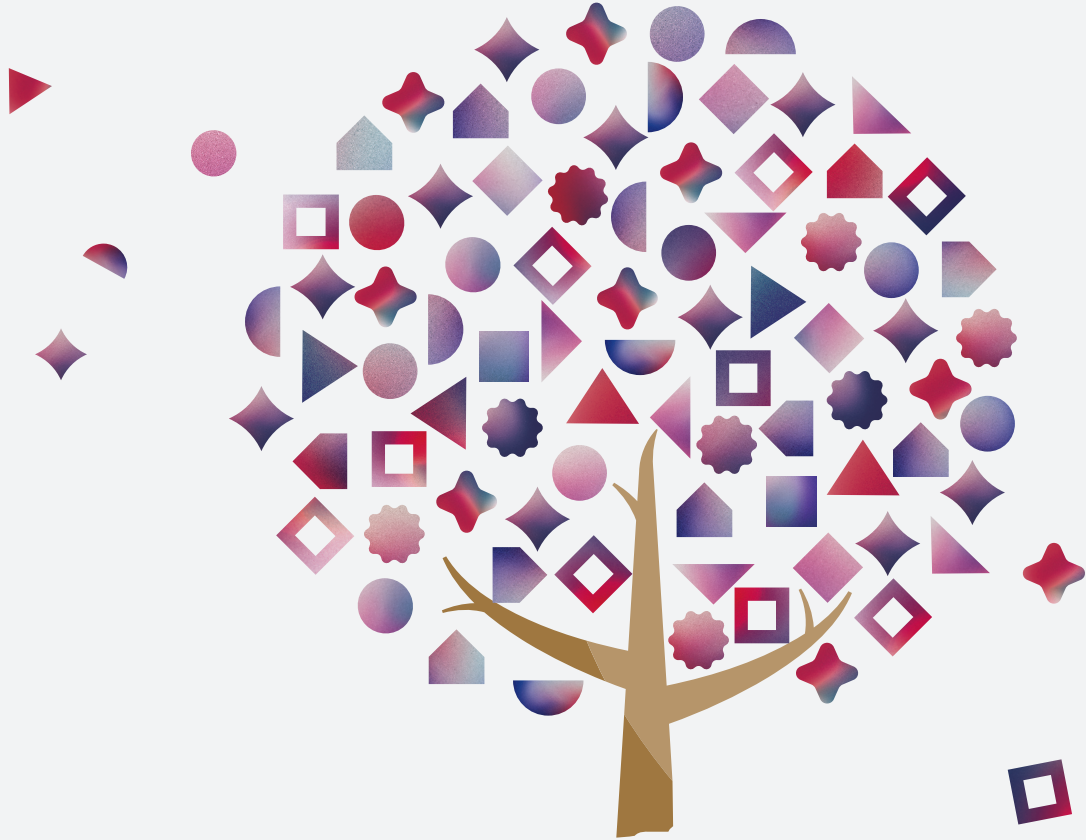


産総研グループ

AISol IP INNOVATION ECOSYSTEM PROGRAM

AISol・知財イノベーション・エコシステムプログラム

IDEAL STORY



知財は、技術と情熱が重なり合って生まれる
未来を育てるアイデアの種。

いま、眠っていた知が、
新たな価値を生み出すために目を覚ます。

使われ、つながり、磨かれることで、
その力は、社会全体へと広がっていく。

AISolは、散らばった知財を集め、束ね、育て、
挑戦のための力へと変えていく。

埋もれた技術に光をあて、
産・学・官の知を結び、
「実装」というかたちで未来へ届ける。

知が集まり、育ち、社会を動かす。
それが、AISolが描く未来のかたちです。

ABOUT AIST

産業技術総合研究所(産総研)とは

国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)は、経済および社会の発展に資する科学技術の研究開発などを総合的に行う日本最大級の公的研究機関であり、「社会課題の解決」と「我が国の産業競争力強化」をミッションとしています。

RESOURCE



研究職

約 **2,300** 人

国際研究ネットワーク※1

世界 **16** 機関



人員

約 **12,000** 人

国内拠点
12 拠点



OUTPUT



研究発表(誌上発表)

3,622 件



企業との共同研究数

718 件



研究発表(口頭発表)

8,006 件



他社牽制ランキング
引用された特許数

718 件

ABOUT AISol

AIST Solutions (AISol/アイソル) とは

AIST Solutions (AISol/アイソル) は、産業技術総合研究所 (産総研) から生まれた100%出資の事業会社です。

2023年の設立以来、「AI・半導体」、「マテリアルDX」、「デジタルプラットフォーム」、「エナジーソリューション」、「サーキュラーエコノミー」、「バイオテクノロジー」、「ウェルビーイング」7つの注力領域で、産総研の先端技術を企業や社会につなぎ、新たな価値を生み出しています。

AISolは、3つの事業を柱としています。

「コーディネート事業」では、企業との共同研究や連携を支援し、研究と社会の橋渡しを行います。「プロデュース事業」では、スタートアップ支援や事業構想を通じて、技術の社会実装を後押しします。そして「知的財産本部」では、研究成果を知的財産として活用し、持続的なイノベーションを支えています。

AISolは、産総研と社会を結ぶオープンイノベーションのハブとして、研究成果の社会実装と、次代の産業創出を加速しています。

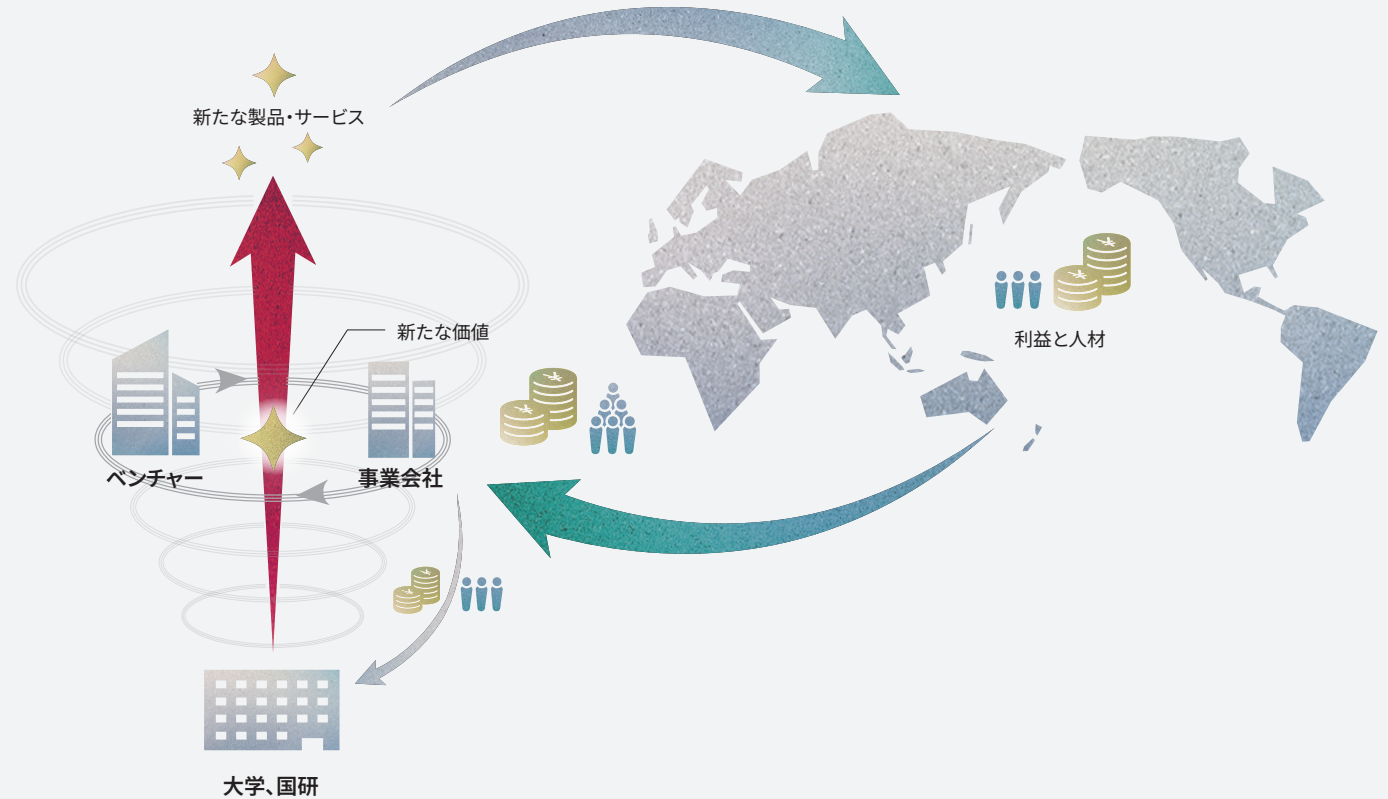


WHAT IS INNOVATION ECOSYSTEM?

イノベーション・エコシステムとは

イノベーション・エコシステムとは、産学共創で研究を行いながらグローバル市場でも認められる価値を創出し、利益と人材を新たな価値創出へ再投資し、継続的な利益と人材の還流を実現する仕組みです。

AI Solは、研究成果を企業・社会に届ける「価値変換の実行機関(技術移転と事業化のハブ)」として日本が目指すエコシステムの一翼を担います。



WHAT IS AISol IP INNOVATION ECOSYSTEM PROGRAM?

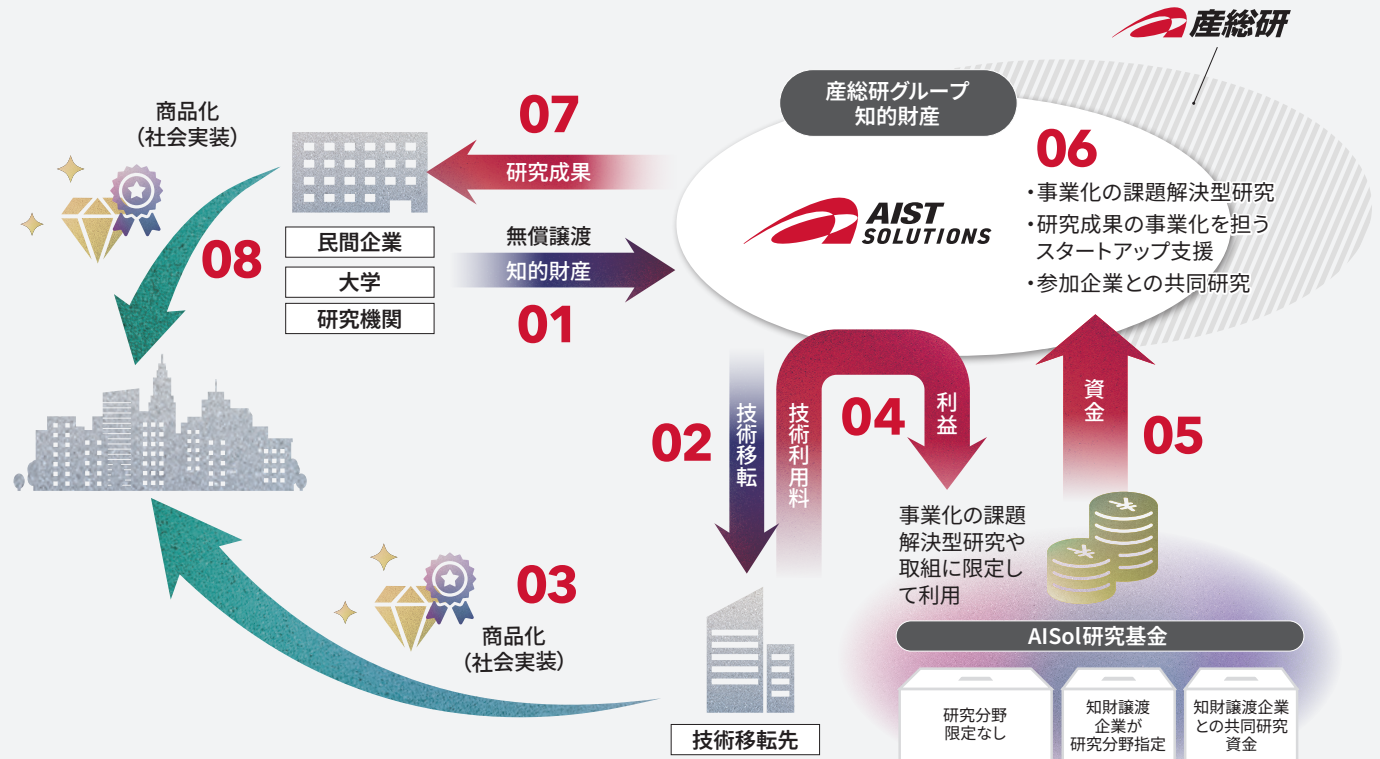
AISol・知財イノベーション・エコシステムプログラムとは

「AISol・知財イノベーション・エコシステムプログラム」は、民間企業・大学・研究機関が保有する有効活用できていない知的財産(遊休知財)を活用し、産総研の知的財産と組み合わせることで、研究成果の社会実装を推進するプログラムです。

知財が循環し、実装され、価値を生み出す仕組みを構築することで、社会におけるイノベーションの好循環を実現します。

【プログラムの流れ】

- 01 企業・大学などから有用な知的財産をAISolに無償譲渡いただきます。
- 02 産総研の知財と組み合わせて企業に技術移転いたします。
- 03 移転された技術を、製品やサービスとして社会実装します。
- 04 得られた利益は「AISol研究基金」に蓄積されます。
- 05 基金を通じて課題解決型の研究に資金を提供します。
- 06 産総研グループが研究・支援を行います。
- 07 知財譲渡企業にAISolが研究成果を無償で開放します。
- 08 得られた研究成果を新たな商品・収益に活用ください。



FAQ

よくある質問

Q: なぜ、産総研の研究成果のみでなく、民間企業等の知的財産も組み合わせることで技術移転するのでしょうか？

A: 民間企業には、事業計画の見直しにより自社事業で使われず保有されているだけの知的財産が存在します。技術移転先の事業には産総研以外の知的財産も必要なことが多く、産総研と民間企業等の知的財産を組み合わせることで技術移転を加速します。

Q: どのような知的財産でも譲渡できるのですか？

A: 国内外で使用されている、または近い将来使用される蓋然性の高い知的財産を譲り受けます。知的財産の数より質を重視します。

Q: 既に第三者に使用許諾済の知的財産をAISolに譲渡できますか？

A: できます。譲渡者とAISolの間の知的財産の譲渡契約において、既存のライセンスが継続して使用できることを定めることが可能です。ただし、登録対抗制度をとる国の特許については、譲渡者側で必要な通常実施権の設定登録をお願いします。

Q: 譲渡した知的財産の技術移転先の選定に関与することはできますか？

A: できません。譲渡していただいた知的財産の技術移転先の選定に関する一切の判断は、AISolの裁量で行います。

Q: 譲渡した知的財産について、AISolによる知的財産の活用方針、技術移転の対価その他の条件に意見を出す、または拒否することはできますか？

A: できません。譲渡していただいた知的財産の技術移転の対価その他の条件に関してのご要望は一切お受けいたしかねます。

Q: 譲渡した知的財産の放棄その他の処分に関して意見を出すことはできますか？

A: できません。譲渡していただいた知的財産の処分は、AISolの裁量で維持・管理・活用・放棄を行います。ただし、譲渡していただいた知的財産を転売する形で処分する予定はありません。また、PAE（パテント・トロール）への譲渡はいたしません。

Q: 技術移転で得られる収入はどのように取り扱いますか？

A: 本プログラムで得られた技術移転収入から、AISolが負担した知的財産の権利化維持費用、調査費用、外部専門家費用などを含む技術移転活動費用等の経費を控除し、利益を「AISol研究基金」に積み立てます。AISol研究基金は、産総研グループによる、事業化の課題解決型の研究開発、発明の創生や権利強化、研究成果の事業化に取り組むスタートアップ支援・出資など、研究成果の社会実装推進活動の資金として利用します。

Q: 知的財産を無償譲渡した本プログラム参加者にはどのようなメリットがありますか？

A: 本プログラム参加者は、当該知的財産が貢献して積み立てられたAISol研究基金を用いた産総研グループの研究成果や知的財産を無償で利用することができます。自社の研究開発や事業にこれらの知的財産を利用することができます。また、AISol研究基金を用いる研究分野の指定、産総研グループとの共同研究費への充当といったオプションを用意しています。

CONTRACT FLOW

契約フロー

01 譲渡候補特許リストをAISolへご提示ください。



02 AISolより、譲渡希望特許を提示いたします。



03 譲渡の可否をご判断いただき、譲渡契約書
(本プログラム用テンプレート)をご確認ください。



04 譲渡契約を締結します。



05 特許の名義変更等の手続きにご協力ください。



お問い合わせ：株式会社 AIST Solutions
知的財産本部 知財戦略渉外部
ecosystem-ml@aist-solutions.co.jp

公式HP：<https://www.aist-solutions.co.jp/contact/form.html>

